

# 2019年2月期第3四半期決算

<参考資料>

2018年 12月27日

くらしの「あたらしい幸せ」を発明する。  
 J. FRONT RETAILING

## 2018年度3Q 連結業績(IFRS)

 J. FRONT RETAILING

- ▶ 百貨店事業、不動産事業は増収も、パルコ事業およびその他が苦戦し減収
- ▶ 百貨店中心に将来に向けたコスト増等で事業利益、営業利益、四半期利益減益
- ▶ 9月自然災害影響含めやや進捗厳しいも乖離幅縮小に努め10月予想据置き

(単位:百万円、%)

2019年2月期	3Q			3Q累計		
	実績	対前年		実績	対前年	
		増減高	増減率		増減高	増減率
総売上高	266,569	Δ2,163	Δ0.8	813,679	Δ13,357	Δ1.6
売上収益	106,401	Δ1,584	Δ1.5	333,608	Δ8,887	Δ2.6
売上総利益	50,096	Δ570	Δ1.1	155,047	Δ608	Δ0.4
販売管理費	40,743	1,082	2.7	121,422	Δ450	Δ0.4
事業利益	9,353	Δ1,651	Δ15.0	33,625	Δ157	Δ0.5
その他の営業収益	858	67	8.5	2,512	Δ3,965	Δ61.2
その他の営業費用	576	Δ39	Δ6.3	2,284	Δ115	Δ4.8
営業利益	9,635	Δ1,545	Δ13.8	33,853	Δ4,007	Δ10.6
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	6,167	Δ1,231	Δ16.6	22,077	Δ1,636	Δ6.9

## 2018年度3Q セグメント情報(IFRS)

JFR J. FRONT RETAILING

- ▶ 百貨店事業はシステム費用等コスト増、地方店苦戦。9月機会損失影響も
- ▶ 不動産事業はGINZA SIX堅調、上野FTフル寄与、神戸店周辺店舗移管上積み
- ▶ パルコ事業は衣料品不調、地方店不振。その他は大丸興業、Jフロント建装苦戦

(単位:百万円、%)

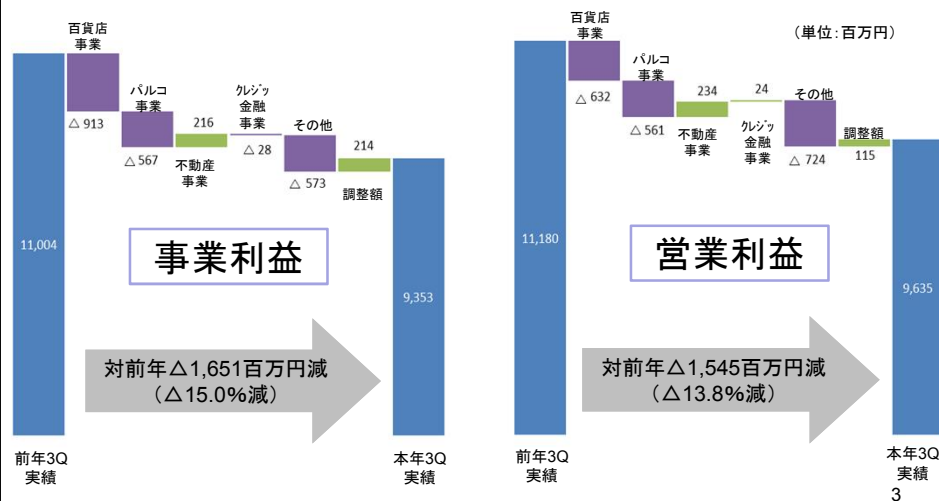
2019年2月期 3Q(9-11月)	事業利益			営業利益		
	実績	対前年		実績	対前年	
		増減高	増減率		増減高	増減率
百貨店事業	4,072	△913	△18.3	3,973	△632	△13.7
パルコ事業	1,910	△567	△22.9	2,432	△561	△18.7
不動産事業	1,659	216	15.0	1,630	234	16.8
クレジット金融事業	891	△28	△3.1	893	24	2.7
その他	642	△573	△47.1	527	△724	△57.9
合計	9,353	△1,651	△15.0	9,635	△1,545	△13.8

2

## 2018年度3Q セグメント情報(IFRS)

JFR J. FRONT RETAILING

2018年度3Q(9~11月累計) 連結  
セグメント別事業利益・営業利益増減分析



## 2018年度3Q 大丸松坂屋百貨店 (IFRS)



- ▶ 百貨店売上高は、自然災害影響で9月はマイナスも、10月、11月復調し増収
- ▶ G6は2年目も堅調、上野FT開業フル稼働。神戸店周辺店舗不動産事業に移管
- ▶ 事業利益は百貨店がシステム費、減価償却費増で減益、不動産事業は2桁増益

(単位:百万円、%)

2019年2月期 3Q(9-11月)	百貨店事業			不動産事業			大丸松坂屋百貨店合計		
	実績	対前年		実績	対前年		実績	対前年	
		増減高	増減率		増減高	増減率		増減高	増減率
総額売上高	154,832	885	0.6	4,328	619	16.7	159,101	1,496	0.9
売上収益	55,418	222	0.4	4,281	634	17.4	59,639	845	1.4
売上総利益	33,518	64	0.2	2,208	276	14.3	35,667	332	0.9
販売管理費	29,971	1,036	3.6	549	60	12.3	30,460	1,087	3.7
事業利益	3,547	△971	△21.5	1,659	216	15.0	5,206	△756	△12.7
その他営業収益	46	22	94.9	92	86	—	139	109	362.2
その他営業費用	133	△267	△66.7	121	69	129.6	254	△198	△43.7
営業利益	3,460	△682	△16.5	1,630	234	16.8	5,091	△448	△8.1

4

## 2018年度3Q 大丸松坂屋百貨店SG&A



- ▶ 人件費は抑制も、広告宣伝費、システム費、減価償却費等を中心にコスト増

2019年2月期 3Q(9-11月)	実績 (百万円)	増減高 (百万円)	増減率 (%)	主な増減要因
人件費	6,440	△23	△0.3	主に人員自然減による
広告宣伝費	2,546	316	14.2	エコフキャンペーン、FNOイベント強化など
包装配達費	500	17	3.6	物流費値上げ
賃借料	4,262	△155	△3.5	周辺店舗等の定借化に伴い賃貸原価に振替
減価償却費	2,366	252	11.9	心齋橋店北館割増し償却
作業費	2,770	343	14.2	システム費用増
その他	11,572	334	3.0	
合計	30,460	1,087	3.7	

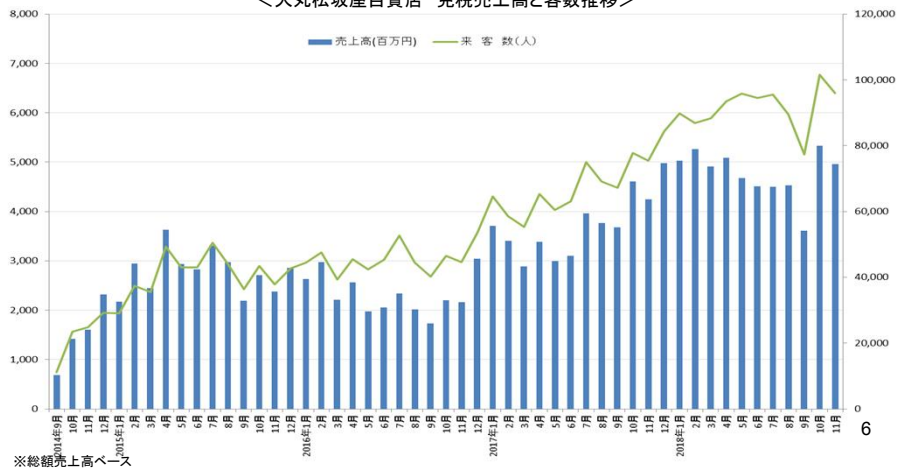
5

## 2018年度3Q インバウンド状況



- ▶ 9月は台風被害による閑空閉鎖影響で一時マイナスも、10月、11月は2桁増へ
- ▶ 免税売上は3Q(9-11月累計)で138億円、対前年10.9%増。免税売上シェア9.0%
- ▶ 購買単価はダウンも来客数増(24.7%増)が牽引。化粧品3割増、シエア5割超

＜大丸松坂屋百貨店 免税売上高と客数推移＞



Website <http://www.j-front-retailing.com>

facebook <http://www.facebook.com/J.FrontRetailing>

くらしの  
「あたらしい幸せ」を  
発明する。



J. FRONT RETAILING

本資料における業績予測や将来の予測に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されております。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は、見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おください。